

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ほらりす				公表日	2026年 3月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	運動スペースが限られているので、身体を使った活動は近くの公園を利用している。活動スペースを区切って半個室を3箇所設けている。	基準上必要なスペースを満たしているが、中高生は身体も大きく手狭に感じる場合がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	児童2名に対し職員1名の配置を基本として支援を行っている。	障がい特性に対しての研修の充実と障害特性の理解や統一した支援、対応力の向上がもっと必要と感じる。又は、職員の増員。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	掲示物等の視覚情報の量を適切に調整している。動のスペース、静のスペース、半個室と分かりやすく区切っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	児童が清潔で気持ちよく活動できるよう日々、整理整頓・清掃を行っている。	椅子とテーブルのスタイルが望ましい場面もあるが、スペースを考えると座卓スタイルに落ち着いてしまう。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	音や視覚的な情報等の調整が必要な児童でも、安心して過ごせるような環境を意識している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	日々のミーティングや研修に全職員が参加し、日々の業務に関する振り返りや改善点の共有等を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	放課後等デイサービス評価表に記載されている内容を基に、課題の周知と業務改善に取り組んでいる。	評価表を基にした職員研修を実施していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日々のミーティングや研修等で意見の吸い上げと職員育成の状況を確認し、必要に応じて業務改善への取り組みに繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	外部評価は行っていない。	必要に応じて第三者委員会の検討を行う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	毎月1回の社内研修を行っている。必要に応じて外部研修への参加を促している。	内部での研修に力を入れてきたが、外部研修も大事にしていけると良いと考えている。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	法人ホームページで公表中。	内容は社内研修で共有している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	年2回の保護者面談を実施している。必要に応じてアセスメントし、子どもの状態の変化に対応できるようにしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	ケース会議を全社員招集の元で実施し、計画の評価・見直しをしている。	放課後等デイサービスの役割を踏まえた本人視点での計画の作成について、もっと精度を高めていく必要がある。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	4月・10月の全体研修で共有している。記録用のボードに記載し、いつでも見れるようにしている。	計画に沿った実施は、不十分なところもある為、活動前に取り組みの共有も必要。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	現状確認表を基に、児童のできたこと難しかったことや、その理由も考察しながら変化に気づけるよう日々職員間で共有している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	事業所内、関係機関と情報共有しながら、今必要な支援が適切に行えるよう作成している。	社内研修等で放課後等デイサービスガイドラインの共有が出来るよう工夫していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	基本的には、チームでねらいをもって活動の立案を行っている。内容は、堅苦しくならないよう子どもも職員も楽しめるものを意識している。	実施にあたっては、担当者を持ち回り制にすることで職員の経験値を上げられるようにしている。

（援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	活動のねらいを持ちつつ、子どもたちが飽きないような様々な内容を計画している。	放課後は、下校時間が遅い児童が多い為、全体での活動時間が制限される。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	児童の状況に応じ、小グループ・個別・全体等適切な内容を意識して作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	日々必ず支援前のミーティングを行い直近の児童の様子等情報共有と送迎の確認を行っている。	長期期間中は難しいこともあるが、短い時間でも共有事項を確認している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	次の日、活動前ミーティングや日報で前日の共有や振り返りを行っている。	帰り送迎や勤務時間の兼ね合いで、全職員での振り返りはできていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	個別支援計画に沿った支援の記録を日々適切に記録している。また、業務日報も作成している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	年2回のモニタリングを実施、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	主に、身辺自立・様々な体験・地域の社会資源の活用・意思決定について意識して支援を行っている。	地域との繋がりについては、どこに接点を作れるか模索していきたい。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	余暇時間の充実を意識しながら、様々な体験の中で「選ぶ」「決める」をできるだけ本人が経験できるよう支援している。	本人がもっと「選択」「決定」しやすい環境や対応を考えていきたい。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	基本的には児童発達管理責任者が参加している。	児童発達管理責任者がやむを得ず参加できない場合は、主任職員が参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	サービス担当者会議等で、各関係機関と情報共有しながら支援体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校が主催の連絡会の参加や、児童の下校時に情報共有を行っている。同時にご家庭との認識にずれがないかも確認している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	必要に応じ、保護者から過去の様子を聞き取りしている。ぶりずむからの移行の際は、引継ぎの場を必ず設けている。	当事業所は、中・高生を主に受け入れしているため、直接的な連携は必要性が低い。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	当事業所から別事業所へ移行する場合には、移行会議等で情報共有を行っている。	学校からの情報が来ない為、こちらから確認するようにしている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	研修等の機会があれば参加するようにしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	児童館等との交流の機会は作れていない。	インクルーシブル推進の観点からも課題としている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	その日は職員数を増やす等の努力をしている。	時間帯や職員数に制限があるため、毎回の参加は難しい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	日々送迎時や施設へのお迎え時等に情報共有を行っている。	ご家庭・学校・事業所等で児童の見える顔が違う場合もあるため、それぞれの見方や考えを今後も大事にしていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	他機関が開催する研修等の情報提供を行っている。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	保護者面談時や内容に変更があった場合に説明している。	加算の内容や目的等についてお問合せいただいたこともあった為、説明に不足がないよう丁寧に進めていきたい。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者面談の際に、計画の原案をご説明した上でその他ご意向がないか確認している。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	年2回の保護者面談時に説明を行い同意を得ている。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	年2回の保護者面談の他にも随時相談をお受けし必要に応じ助言している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	年1回の保護者会を実施している。	親子参加行事やきょうだい同士での交流の機会も検討していけると良い。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情対応マニュアルを整備し、迅速に対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	通信紙の発行やブログの更新を定期的に行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	社内研修で周知、マニュアルの整備を行っている。	個人用のシフト管理については検討が必要。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	児童それぞれの特性を把握した上で、必要に応じ視覚支援の活用を検討・実施している。	分かりやすいよう丁寧な説明や環境を意識していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	地域にある同法人の事業所を招いて夏祭り等の行事を行っている。	事業所内で地域住民を招待するほどの行事は行えていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアル作成を行い、職員の新人研修時、新規利用児童の契約時に伝えている。社内研修にて各訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	業務継続計画書を策定し、社内研修にて各訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	新規契約時に聞き取りを行っている。服薬の量や種類の変更時確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	新規契約時に聞き取りを行っている。まだ重篤な食物アレルギーの児童がいないので、もし利用になった場合には医師の指示書に基づき対応する。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し、社内研修で周知している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	地震時の対応について、地域避難場所含め書面で周知している。また、児童の急な欠席時には迅速に保護者へ確認を取っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	社内研修で共有し、再発防止策を検討している。	記録への意識を定期的にも高めたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	マニュアルを整備し、社内研修で共有している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	マニュアルを整備し、社内研修で共有している。必要に応じて個別支援計画書に記載し、ご本人の特性に応じた支援の必要性等説明している。		